

取立山～護摩堂山 山スキーを楽しみました

February 23, 2015

メンバー 3人 オールマウンテンクラブ

日帰り登山はピークハントを目的にピストンになることが多い。理由はマイカーの利用である。入山口に下りてこなければならぬとしても同じコースを歩くことは避けたい。入山口と下山口が異なっても交通機関があると戻ることができる。周回して入山口に戻って来ることのできるコースを取れることがもっともよい。そのようなコースを記録や地図を見ながら考えること自体も楽しい。最近ネットに情報があふれているので下調べは楽になっている。記録を読んでここに行きたいと言う気持ちもわいてくる。知らないに興味は湧かないが知ると興味が湧くというのが素直な気持ちの表れである。

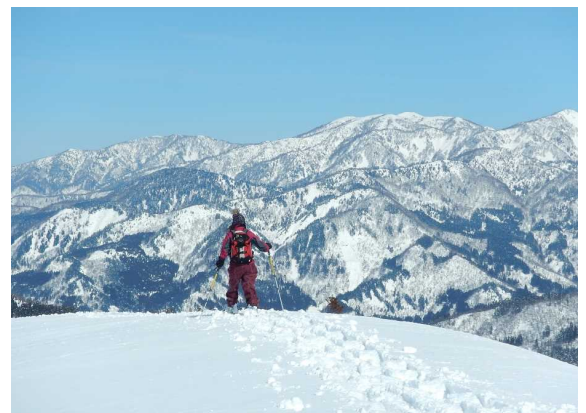
取立山には14年前の2001年3月25日、山スキーでピストンしている。このときは3月下旬とあって、いこいの森キャンプ場入り口まで車で入り林道をとところどころ短縮しながら台地に出た。ラッセルもなく締まった雪に苦労することもなく登ることができた。往復3時間半の行程であった。単調で簡単なピストンであったことや天気が曇り空で晴天の雄大な白山の姿を眺めることができなかつたことなどから、つまらない山という印象しか残っていない。しかし、今回は快晴と雪に恵まれ印象が一変した。取立山の頂上や護摩堂山へ至る稜線から眺める白山や福井の山の素晴らしさを満喫することができた。

今回のスキーツアーはいこいの森から取立山を経て護摩堂山まで縦走する周回コースをとった。前日までの積雪で国道の入り口から50cmほどの新雪が積もっていた。出発時の7時半過ぎにはしっかりトレースが付けられていた。トレースは林道を通らず尾根伝いに急斜面を直登していた。今回もミニスキーにしたが長い板でないと潜ってもぐって疲れることはなほだし。トレースは直登しているため急過ぎて追うこともできない。ミニスキーでのラッセルの辛さをさんざん味わさされた。同行した仲間はスノシューと山スキー板なので此方ほどには疲れずに済んだようである。正直、取立山からそのまま滑って降りようかとも考えた。滑りでも差が出た。日射によって雪は重く深雪にミニスキーはもぐりがちであった。雪が多く藪も埋まって締まっていたので普通の山スキー板を使うべきであった。

取立山から先行者が2人いたが途中で追い越しラッセルして護摩堂山に着いた。疲れたが今回の周回コースは素晴らしかった。晴天でないとこの感動を味わうことはできないであろう。コースの選定と天候がぴったり合致した。車2台をそれぞれ入山口と下山口にデポしておいたので国道歩きをしないで済んだことも幸いした。



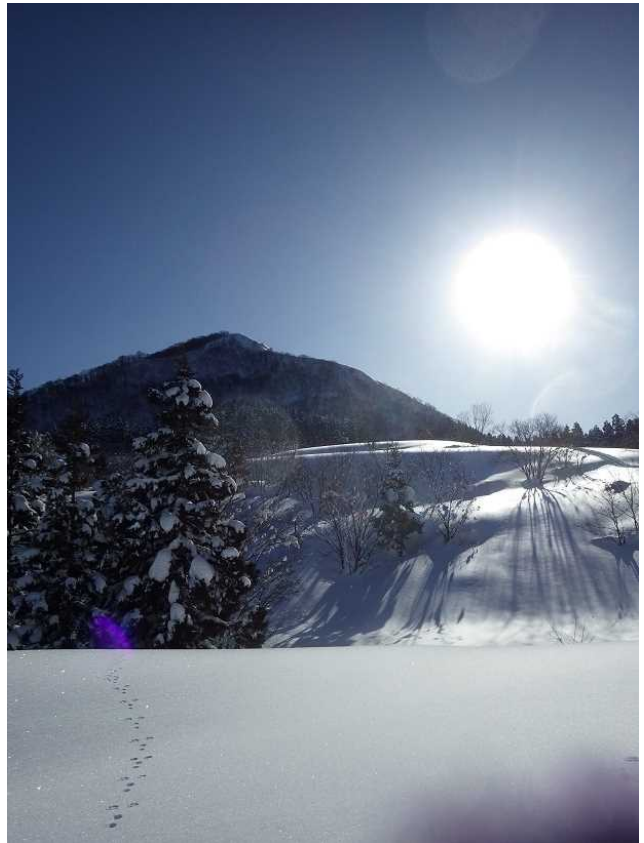
取立山から白山を望む



こつぶり山



護摩堂山



取立山を望む (ベストショット)



取り立て山 山頂にて

